

25全公教発第78号
平成25年11月6日

公立小中学校長 様

全国公立学校教頭会
会長 石黒 茂

第38回 中央研修大会の開催について（依頼）

平素より、全国公立学校教頭会の活動へのご理解ご助言をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、下記の要領により、第38回中央研修大会を開催します。つきましては、貴校の教頭・副校長先生の出席についてお願いいたします。ご多用中とは存じますが、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成26年2月14日（金）10：00～15：00（受付9：15）
- 2 会 場 メルパルクホール
東京都港区芝公園2-5-20 TEL03-3459-5501
- 3 対象者 全国公立学校教頭会会員・役員・専門部員
- 4 内容と日程
 - ① 開会行事 10：00
 - ② 基調講演 10：20～11：30
演 題 「(仮) いじめ防止対策推進法と学校教育」
講 師 日本女子大学教授 坂田 仰 氏
 - ③ シンポジウム 12：40～14：55
テーマ 「(仮) いじめの早期対応と未然防止」
シンポジスト
○ 文部科学省初等中等教育局 生徒指導担当（予定）
○ 基調講演者 日本女子大学教授 坂田 仰 氏
○ 東京都町田市教育センター
教育アドバイザー 山本修司 氏
○ 全国公立学校教頭会顧問(前会長) 和田俊彦 氏
司会・進行 全国公立学校教頭会 研究部
 - ④ 閉会行事 14：55

問合せ先 全国公立学校教頭会事務局
TEL 03-3436-4868

平成25年11月6日

公立小中学校 教頭・副校長 様

全国公立学校教頭会
会長 石黒 茂

第38回 中央研修大会 開催案内

平素より、全国公立学校教頭会の諸活動への参加と協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、下記の要領により、第38回中央研修大会を開催いたします。ご多用中のところ恐縮ですが、出席くださるようよろしくお願いいたします。

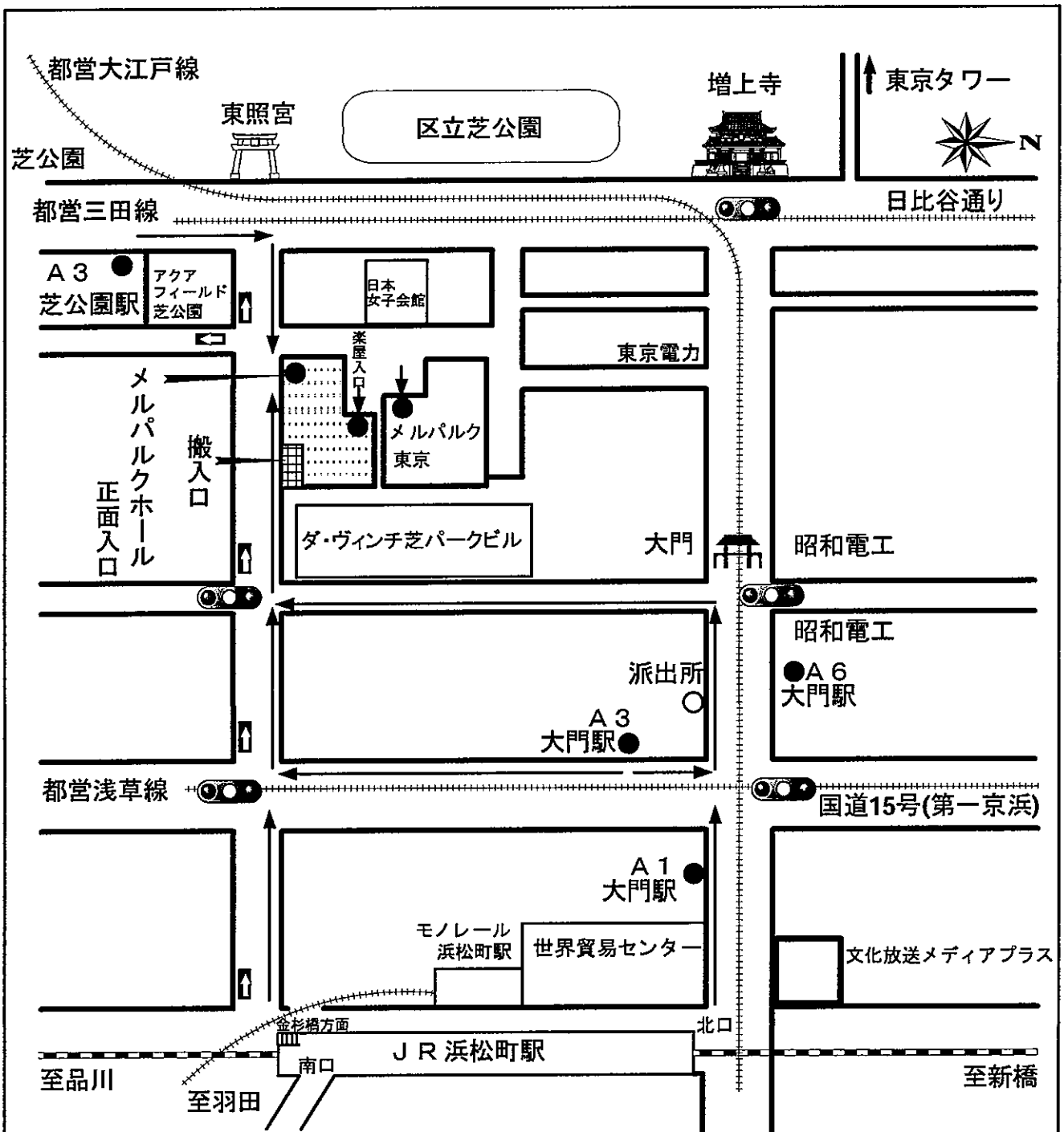
記

- 1 日 時 平成26年2月14日(金) 10:00~15:00(受付9:15)
- 2 会 場 メルパルクホール
東京都港区芝公園2-5-20 TEL 03-3459-5501
- 3 内容と日程
 - ① 開会行事 10:00
 - ② 基調講演 10:20~11:30
演 題 「(仮) いじめ防止対策推進法と学校教育」
講 師 日本女子大学教授 坂田 仰 氏
 - ③ シンポジウム 12:40~14:55
テーマ 「(仮) いじめの早期対応と未然防止」
シンポジスト
○ 文部科学省初等中等教育局 生徒指導担当(予定)
○ 基調講演者 日本女子大学教授 坂田 仰 氏
○ 東京都町田市教育センター
教育アドバイザー 山本修司 氏
○ 全国公立学校教頭会顧問(前会長) 和田俊彦 氏
司会・進行 全国公立学校教頭会 研究部
 - ④ 閉会行事 14:55

※ 昼食は各自、会場周辺のお店等にてお願いします。

問合せ先 全国公立学校教頭会事務局
TEL 03-3436-4868

メルパルクホール 案内図



〒105-8582 東京都港区芝公園2-5-20

電話 03(3459)5501 FAX 03(3459)5599

交通のご案内

- | | | |
|------------------------|----------------|--------|
| ○ JR 山手線・京浜東北線・東京モノレール | 浜松町駅 北口 | 徒歩 約8分 |
| | 浜松町駅 南口(金杉橋方面) | 徒歩 約8分 |
| ○ 都営地下鉄三田線 | 芝公園駅 A3 | 徒歩 約2分 |
| ○ 都営地下鉄浅草線・大江戸線 | 大門駅 A3・A6 | 徒歩 約4分 |

平成25年度中央研修大会参加要請数

地区	地区	会員数	割合 %	希望要請数	24年度実績
北海道 ﾌﾞﾛｯｸ	1 北海道	1,702	2.8	48	44
	計	1,702		48	44
東北 ﾌﾞﾛｯｸ	2 青森	484	2.8	14	28
	3 岩手	518	2.8	15	17
	4 宮城	625	2.8	18	22
	5 秋田	355	2.8	10	10
	6 山形	381	2.8	11	12
	7 福島	707	2.8	20	15
	計	3,070		86	104
関東 甲信越 ﾌﾞﾛｯｸ	8 茨城	829	6.3	52	49
	9 栃木	559	6.3	35	39
	10 群馬	503	6.3	32	32
	11 埼玉	1,273	7.3	93	82
	12 千葉	1,251	7.3	91	88
	13 東京 小	1,299	8.8	114	79
	14 東京 中	627	8.8	55	14
	15 神奈川小	857	8.3	71	66
	16 神奈川中	415	8.3	34	33
	17 山梨	291	6.3	18	15
18 新潟	750	5.3	40	39	
計	8,654		637	536	
東海 北陸 ﾌﾞﾛｯｸ	19 静岡	771	5.3	41	37
	20 富山	300	3.8	11	12
	21 石川	313	3.8	12	10
	22 福井	274	3.8	10	17
	23 愛知	1,400	3.8	53	50
	24 岐阜	604	3.8	23	10
	25 三重	563	3.8	21	9
計	4,225		172	145	

地区	地区	会員数	割合 %	希望要請数	24年度実績	
近畿 ﾌﾞﾛｯｸ	26 滋賀	347	2.8	10	9	
	27 京都	587	2.8	16	9	
	28 大阪	1,496	2.8	42	25	
	29 兵庫	889	2.8	25	22	
	30 神戸 小	170	2.8	5	6	
	31 神戸 中	88	2.8	2	7	
	32 奈良	308	2.8	9	6	
	33 和歌山	364	2.8	10	10	
	計	4,249		119	94	
	中国 ﾌﾞﾛｯｸ	34 鳥取	202	2.8	6	4
		35 島根	321	2.8	9	24
36 岡山		604	2.8	17	17	
37 広島		789	2.8	22		
38 山口		498	2.8	14	14	
計		2,414		68	59	
39 徳島		324	2.8	9	9	
40 香川		328	2.8	9	9	
四国 ﾌﾞﾛｯｸ	41 愛媛	447	2.8	13	17	
	42 高知	326	2.8	9	10	
	計	1,425		40	45	
	43 福岡 小	744	1.8	13	8	
九州 ﾌﾞﾛｯｸ	44 福岡 中	354	1.8	6	2	
	45 佐賀	261	1.8	5	5	
	46 長崎	543	1.8	10	10	
	47 熊本	559	1.8	10	13	
	48 大分	420	1.8	8	8	
	49 宮崎	376	1.8	7	8	
	50 鹿児島	746	1.8	13	8	
	51 沖縄	381	1.8	7	7	
計	4,384		79	69		
合計	30,123		1,243	1,056		

※広島県は、22年度実績による

第38回 中央研修大会実施要項(案)

- 1 期 日 平成26年2月14日(金)
- 2 会 場 メルパルクホール
- 3 出席者 ・役員及び研究部員 名
・都道府県会員
- | | | | |
|-----------|------|----------|------|
| 北海道ブロック | 48名 | 東北ブロック | 86名 |
| 関東甲信越ブロック | 637名 | 東海北陸ブロック | 172名 |
| 近畿ブロック | 119名 | 中国ブロック | 68名 |
| 四国ブロック | 40名 | 九州ブロック | 79名 |

4 内 容

(受付 9:15~10:00)

(1) 開会行事式 10:00 ~ 10:15

司 会「有田 研究部員」

- ① 開会のことば 副会長「山田 勇」
- ② 会長あいさつ会長「石黒 茂」
- ③ 来賓祝辞 全国連合小学校長会会長「堀竹 充 様」
- ④ 来賓紹介 副会長「野口 みか子」
- 全日本中学校長会会長「細谷 美明 様」
- 全国連合小学校長会会長「堀竹 充 様」
- 全国へき地教育研究連盟「伊井 一雅 様」

(2) 趣旨説明 10:15 ~ 10:20

全国公立学校教頭会 研究部長「青田一彦」

(3) 基調講演 10:20 ~ 11:30

- 演 題「いじめ防止対策推進法と学校教育(仮)」
- 講 師「坂田 仰 様(日本女子大学教授)」

*講演の視点「法律制定により、学校教育がどのように変わっていくのか、スクールコンプライアンスの視点を交えながら示唆をいただく。」

(4) シンポジウム 12:40 ~ 14:55

- テーマ「いじめの早期対応と未然防止(仮)」

視 点 1 いじめの早期対応にむけての対策

2 未然防止につながる学校教育の質の向上

- シンポジスト

文部科学省関係(1名) 未定

大学教授(1名) 「坂田 仰 氏」(基調講演者・日本女子大学)

教育関係機関等(1名) 「山本 修二 氏」(町田市教育センター)

全公教顧問(1名) 「和田 俊彦 氏」(北区立赤羽岩淵中学校)

- 司会・進行

全公教研究部(2名)「熊倉 副部長」「肥留川 研究部員」

- お礼のことば 副会長「幸丸 滋」

(5) 閉会行事 14:55 ~ 15:00

- ① 全国公立学校教頭会歌 「山・波・雲」斉唱
- ② 閉会のことば 副会長「佐々 一哉」

中央研修大会に向けての検討事項（基調講演・シンポジウムについて）

趣 旨

いじめ防止対策推進法が9月28日に施行された。学校や地方公共団体にいじめ防止に必要な組織を置くことや道德教育や体験学習の充実、いじめを行った子どもへの懲戒や出席停止措置などが、盛り込まれているが、内容的にこれまでの文部科学省の通知等と重なることが多い。通知通告ではなく、法律として制定された意義をどのように受け止め、学校として、副校長・教頭としてどのように対応していけばよいのかについて、認識を深める機会としたい。また、いじめへの対応だけでなく、いじめが起きにくい学校づくりに向けて、授業や行事などの教育活動をどのように改善していけばよいのか明らかにしたい。

1 基調講演の講師依頼

いじめ防止対策推進法が施行され、学校において様々な対応をしているところであるが、法律の趣旨に沿った対応はどうあるべきか、また、今後考えられる課題に対してスクールコンプライアンスの視点から、提言をいただく。

① 演 題 「いじめ防止対策推進法と学校教育」（仮称）

② 講 師 坂田 仰氏（日本女子大学教授）

2 シンポジウムテーマ設定およびシンポジストの選出

基調講演をもとに、大きく、いじめの「早期対応」と「未然防止」について討論する。前半では、学校がいじめを認知した場合の、いじめ問題の速やかな解決を目指した早期対応の在り方に関して、副校長・教頭の果たすべき役割を視野に入れながら話し合いを進める。後半では、いじめ防止等のための対策の設定やその運用など、いじめ未然防止の捉え方について改めて整理を試みるとともに、学級や学校でいじめを起きにくくする・起きないようにする未然防止の在り方について、「生き抜く力 絆づくり」をキーワードにして話し合いを深め、第10期の研究主題に迫っていく。

① テーマ「 いじめの早期対応と未然防止（仮） 」

□ シンポジスト（候補者）4人

- ・坂田 仰氏（日本女子大学教授）【基調講演】
- ・山本 修司氏（町田市教育センター）→いじめを断つ毅然とした指導の著者、学校運営9月号にも掲載、実践家【早期対応】
- ・未定（文部科学省関係の方を予定）
- ・和田 俊彦氏（全公教顧問会・北区立赤羽岩淵中学校）